

# 検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年3月3日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合)【No.95】

## 書記が勝手に「国際交流基金」に入金！とぼけた松崎証言！

松崎氏のハワイのリゾートマンションの購入にあたり、JR総連の国際交流基金口座を經由し入出金が行われていた経過(「No.93」参照)について、今度は、松崎氏本人の弁明をみていきたい。「週刊現代裁判」(2009年1月26日)の尋問での証言内容を以下に紹介する。

(被告代理人)ハワイに2つ建物、あるいはコンドミニアムを購入されたことがあると思いますが、最初に購入されたヒロの建物、これは99年4月頃購入されたということによしいですか。(松崎)ああ、そうかもしれませんね。(代理人)金額としては2100万円程度というのがアメリカの記録のようですが、大体そんなものですか。(松崎)そんなものだと思いますね。(代理人)これの原資はどうされたんですか。(松崎)私のお金です。(代理人)2100万円まるまる。(松崎)はい。-(中略)-(代理人)翌2000年4月に今度はコナのコンドミニアムを約3300万円で購入されていますが、これも大体時期、金額はそんなものですか。(松崎)そんなものだと思います。(代理人)これの原資は。(松崎)コナの原資は...私が払い込んだ国際交流基金という名目の中ではないかと思えます。(代理人)国際交流基金というのは、誰が設置したのですか。(松崎)それは組合です。(代理人)どこの組合ですか。(松崎)東労組とJR総連です。(代理人)そこにあなたのお金を振り込んだんですか。(松崎)そういうことです。(代理人)いつ頃ですか。(松崎)先ほど申し上げた通りですが、年月日はよく覚えておりません。-(中略)-(代理人)分からないのもう一度おっしゃってください。(松崎)ですから、日時はよく分かりません。90何年ですかね...よく分かりませんね。(代理人)じゃあ、何か売った代金をその国際交流基金の口座に入れたんですか。(松崎)...3800万円というのは覚えているんですが。(代理人)先ほど、主尋問のときに甲39号証ということで預金の出入りを示す取引経過一覧というのを見ていただいたようですが、あれが国際交流基金の口座なんですか。(松崎)はあ...そうかもしれませんね。(代理人)はっきりした記憶はない。(松崎)はい、ありません。(代理人)これは、あなたが国際交流基金の口座に3800万円を入れたということですか。(松崎)多分、(注:日本鉄道福祉)事業協会などの書記さんがやってくれたのではないかと思います。(代理人)実際の手続は誰がやったかはいいいんですが、あなたの発意というか、あなたの指示に基づいて、あなたがご自分のお金を国際交流基金の口座に3800万円入金した、あるいはさせたということですか。(松崎)私は特別に指示しておりません。(代理人)3800万円という金額ですから、あなたの了解なしに勝手に動かすということはありません。(松崎)ですから、私が使うものですから、その処理をしてもらったんですよ。(代理人)ですから、取りあえず国際交流基金の口座に入れておいてくれというようなことを依頼したということですか。(松崎)私はそういう依頼をしておりません。

## 革マル最高幹部がハワイに二つの豪華別荘を購入したブラックユーモア

松崎氏は1999年4月にヒロ、翌年4月にコナに、続けて二つのコンドミニアムを購入しているが、西岡研介著「マングローブ」は「『米国主義打倒!』を叫ぶ、極左セクトの最高幹部が、アメリカ50番目の州に豪華別荘を二つも構えていたとは、もはやブラックユーモアとしか言いようがない」と痛烈に批判している(p.92)。そして、横領疑惑の核心である「国際交流基金」に3800万円の沖縄の別荘の売却代金が入金された経過に関する証言は、上記の通り、呆れるほどに支離滅裂でいい加減だ。JR総連・東労組の組合員にとっては、とてもブラックユーモアで済む話ではない!